

(様式3)

事業所名 グループホームらいふ

目標達成計画

作成日: 令和 3 年 3 月 8 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		コロナ禍での施設内の限られた空間での生活で運動不足からか歩行に不安定な方がみられるようになっている。	転倒予防に注意を払うと同時に体力を改善するために毎日の運動に取り組み、歩行に不安の無い生活を送ってもらう。	・職員で運動メニューについて話し合い、個人的な運動実施表を作成し、毎日取り組みができるようにする。 ・入居者の方が励みになる働きかけをする。	2ヶ月
2		コロナ禍で家族の面会や外出も困難になっているため、入居者の方の日頃の会話も少なくなり、他の入居者の方に対するイライラも見られる。	毎日の生活でのストレスを解消し、いきいきと穏やかに生活をしてもらう。	・コロナ禍の外出制限前に行った季節ごとのドライブ、外食、散歩等を余暇活動を行う中で感染予防対策を行い、徐々に取り入れる。 ・職員が中に入り入居者同士の会話が弾む働きかけをする。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。